

図書館利用者と石神井図書館長との懇談会

- 1 日時 平成 25 年 11 月 16 日（土） 15 時 30 分～17 時
- 2 場所 石神井図書館 2 階 会議室
- 3 参加者 利用者 5 名
図書館 3 名
(石神井図書館長、副館長、主任主事)
- 4 配布資料 (1) レジュメ
(2) 練馬区立図書館ビジョン（概要版）
(3) 練馬区立図書館利用案内
(4) 平成25年度練馬区教育要覧（図書館部分抜粋）
(5) 平成25年 2 月実施 練馬区立図書館利用者アンケート
石神井図書館集計結果（抜粋版）
- 5 次第 (1) 石神井図書館長あいさつ・区職員紹介
(2) 出席者自己紹介
(3) 石神井図書館の現況について（説明）
(4) 懇談・石神井図書館長あいさつ

図書館利用者と石神井図書館長との懇談会 要録

1 石神井図書館長あいさつ・区職員紹介

こんにちは。皆さん、お忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます。石神井図書館は平成22年に改修・再開館しましたが、改修後初めての懇談会となりますので、よろしくをお願いします。

さて、最初に配布資料の確認をします。次に職員の紹介をします。

進行については、配布資料をもとに、石神井図書館と練馬区立図書館全体の現況について、若干説明し、その後で皆さんのご意見・ご要望をいただきたいと思います。説明は30分程度を予定しています。

私たちは、より多くの方に、気持ちよくご利用いただけるような図書館をつくっていきたいと思っていますが、力不足で行き届かないこともあります。また、利用者の皆さんが図書館に求めるものがそれぞれ違い、ご要望の調整が難しいことなどもあります。

そういったことについても、皆さんのご意見を参考にして、石神井図書館を改善していきたいと思います。また、区立図書館全体のことについては意見具申していきます。直接利用者のご意見を伺える今回のような機会は少ないので、ぜひご協力ください。

なお、今回の内容については、質疑等の記録を残して、ホームページ等に掲載するため、録音をとっています。あわせてご了解ください。

2 出席者自己紹介

利用者 いつも、関町図書館の方が近いので、そちらへ行っているのですが、石神井図書館の方が本が多いので、場合によって関町図書館に行ったり、ここを使ったりと、

便利に使っています。

利用者 子供の頃から利用しています。母親もよく利用して、夫婦で利用しています。インターネットで、こういう機会があると知りましたので、今日は参加しました。

利用者 今日、初めてこういう会に出たのですが、色々と要望や、考えていたことがあるので、ぜひこの機会に話したいと思っています。

利用者 今日はとてもお天気が良く、ここが、2010年にリニューアルという形で建て替えたというので、どういう図書館なのだろうと興味があって見に来ました。

利用者 私は、今回の懇談会では、貫井図書館と光が丘図書館に出席したのですが、これだけ詳しい配布資料を出しているのは、ここだけです。ですから、質問もしたいと思いますので、よろしくお願いします。

3 石神井図書館の現況について

(1) 練馬区立図書館

練馬区立図書館は12館あります。光が丘図書館は中央図書館的役割を持つ図書館で、課長等もここにいます。その他の11館は石神井を含めて地域図書館ということになります。

(2) 運営形態

練馬区立図書館の運営形態は、直営館、委託館、指定管理館の3種類に分かれています。石神井図書館は直営館です。

直営館は2館だけです。石神井図書館は、練馬区としては唯一、区の常勤職員だけで運営している館ですが、土日祝日と夜間は運営委託しています。

もう1館、小竹図書館も直営館ですが、ここは、図書館専門員という非常勤の職員が運営しています。これは区内で50名以上いる、図書館専門職です。専門員はほぼ全員司書資格を持っていて、図書館経験10年、20年という人も多いので、図書館実務についての能力は高いと考えています。

さて、全国的に図書館については、指定管理者化が進んでいるという状況があります。練馬区においても指定管理者館が増え、現在6館になります。近くでは大泉図書館、南大泉図書館、南田中図書館があります。委託館とは、館長は区職員ですが、窓口業務委託等は委託事業者が行うという館です。指定管理者化や委託化には、民間活力の導入や経費節減などの、色々な理由があります。

次に、直営館をなぜ残しているのかというお話です。

練馬区立図書館では、委託事業者などを管理監督していくための図書館運営のノウハウが必要であり、これをどこかで蓄積していく必要があると考えています。図書館全てを指定管理者館や委託館にしまうと、区から図書館運営のノウハウが失われていて、適切な管理監督が困難になるのではないかと。そうならないために、区の職員が運営する図書館を残して、図書館スキルを継承していこうということです。

ケースは違いますが、数年前にふじみ野市立のプールで死亡事故がありました。ふじみ野市はプールの運営を民間委託していましたが、その事業者がプールの吸水口のふたが取れていたのをそのままにして、子供が吸い込まれてしまいました。市役所も事業者の運営内容を十分チェックせず、このような不適切な運営を何年も放置していたという

ことでした。

プールと図書館は少し違いますが、練馬区立図書館では、区職員が直営館で運営ノウハウを継承しながら、指定管理や委託している図書館のサービス内容をチェックしていくという考え方になっています。そのため、委託館、直営館、指定管理者館が混在しています。

なお、それぞれの図書館は、建物の古さ、大きさ、蔵書数の違いなどがあります。また、近くにある南田中図書館のように、建設前から施設内容について地域と話し合いながらつくってきたという館もあれば、石神井図書館のように大規模館で、光が丘図書館ができるまで、中央館であったような館もあります。

石神井図書館の周りは石神井公園やお寺や学校で、いわゆる住宅地ではありません。また中央館であった時代を引き継いでいるようなところもあって、最近できた図書館のように、地域のコミュニティづくり等も意識してつくられた図書館とは、また違いがあるのかなと思います。

できることからやっていきましょうという考え方なので、館によって特色や得意なこと・不得意なことがあります。そういうこともご理解いただけるとありがたいと思っています。

ちなみに、区立図書館の開館時間は、平日 9 時から20時、土日が19時までですが、貫井図書館と春日町図書館だけは、閉館時間が21時になっています。この2館は駅から近いので、立地によってはそういうこともしています。

(3) 子供の読書活動支援など

図書館サービスの最初に出てくる項目が「子供の読書活動」なので、なぜと思われるのかもしれませんが。

昨年度、教育委員会の組織改正があり、元の公民館やスポーツ振興課などが区長部局に移りました。そのときに、図書館もそちらへ行くという話があったのですが、結果として、子供を育てていくための支援を、学校教育との連携も含めて、一体的に進めることが重要だということで、図書館は教育委員会に残りました。

そういった経緯があるため、特に子供の読書活動支援を中心に据えて、力を入れています。最初は、ブックスタート事業という、4か月健診を終えた小さい赤ちゃんを対象に、絵本をお渡しします。その後は、お子様あるいは親子を対象にした、よみきかせや、おはなし会などにご参加いただくというような形で、学齢前のお子さんたちが本に親しむ機会をご用意しています。

石神井図書館はよみきかせ、おはなし会を、去年は57回行って、1,056人に参加いただきました。ブックスタート事業の絵本配布は、去年、図書館全部では4,300件行いました。そういったことが一つの柱としてあります。

また、学校支援の事業ということで、施設見学や職業体験の受け入れ、あるいは、学校に職員を派遣して、本の探検ラリーやおはなし会などのイベントを開催しています。

障害のある方へのサービスとしては、朗読サービスや布の絵本などがあります。

図書館資料受取窓口は、予約資料の受取と返却ができる施設で、現在、高野台と豊玉の2か所がありますが、来年の4月以降には石神井公園駅近くに3か所目ができます。利便性が少し上がるのではと思います。

(4) 石神井図書館の概要

石神井図書館の特色は、蔵書数が多いことと、閲覧スペースが比較的大きいということです。1階の閲覧スペースの他に、この会議室も、利用がなければ閲覧室として開放していますので、合わせると100席以上の閲覧席があります。

(5) 統計データ

光が丘図書館が一番大きく、建築延べ面積、3,500㎡です。石神井図書館は2,400㎡で、区内では2番目の大きさです。もう少し小さい、1,000㎡前後の図書館も幾つかあります。

所蔵資料数は光が丘が21万点、石神井が16万点で、これも2番目。大泉が14万点で、他にも大きいところが幾つかあります。石神井は、地下に閉架書庫があり、閉架資料は約6万点ですので、皆さんの目に見えるところにある開架資料は約10万冊です。

現在の図書館は、その館だけでは完結しません。その館にない資料の予約があった場合は、他の館と融通し合います。先約がなければ、予約から1日～2日で届くようになっています。

(6) 利用状況

個人貸出点数は、光が丘図書館は年間で110万点あまりです。練馬、石神井、大泉などが60万点台で、ほぼ同じ程度です。他の館はもう少し少ない数です。

4 懇談

利用者 石神井図書館にどういう雑誌を置くかは、どのセクションで決めるのですか。

図書館 雑誌については各館に任されています。

利用者 例えば「エコノミスト」という週刊誌や「世界」という月刊誌はここにはなく、南田中図書館にもありません。「世界」は関町図書館にあります、遠いです。置く雑誌を、石神井と南田中など、近くにある図書館同士で調整できませんか。

また、「公明新聞」と「赤旗」は、カウンターに申し出て受け取るようになっていますが、切り抜きが本当に多いのでしょうか。思想調査をされているようで、借りるのを躊躇してしまいます。

図書館 雑誌はスペースの問題がありますので、各館とも置けるものは限られます。今置いているものをやめるのは難しいので、雑誌の入れ替えは、廃刊などによって枠が空いたときに行います。その際、近くの図書館と重複しているかどうかのチェックはしますが、全体的な見直しは難しいです。

「公明新聞」と「赤旗」については、切り抜きがあまりに頻繁に続いたため、利用者からの苦情もあり、カウンターでお渡しする「半閉架」としました。

利用者 雑誌のアンケートはとらないのですか。

図書館 リクエストを出していただくことはできますが、アンケートということではないです。

利用者 蔵書は充実していると思います。書評などを見て興味を持った本を検索すると、たいてい置いてあります。

図書館 ありがとうございます。

利用者 新システムになってから、インターネットで予約すると、確保連絡方法で電話が

選べなくなりました。毎日パソコンを開けるわけではないので、不便です。

図書館 電話連絡は機械で自動的におかけしています。ところが、図書館からだに分かると、聞かずにすぐに切ってしまう方がいます。するとシステム上、連絡が完了しなかった判定されるので、今度は職員がもう一度かけ直すようになっています。そうすると、「何度も電話するな。」と苦情をいただくことがあります。逆に、きちんと聞いていない状態なのに連絡完了として処理すると、「連絡を聞いていない。」とお叱りを受けることがあります。電話連絡にはそのようなトラブルが少し多いのです。

携帯、スマートフォン、パソコンなど、インターネットを使われている方が非常に多くなっていますので、混乱を避けるために、インターネットから予約された方へは、メールで連絡を受けてくださいということです。申し訳ありません。

利用者 利用者用コピー機の料金は10円ですが、民間並みに5円にできないのですか。

図書館 区立図書館のコピー機の利用料金については、他の区立施設と同一の料金を設定しており、現在のところ料金変更の予定はありません。

利用者 石神井図書館に今入っているコピー機は使いづらいです。南田中図書館のものは使いやすいのですが、コピー機が違うのはどうしてでしょうか。

図書館 コピー機の設置は光が丘図書館が一括で契約しています。昨年、石神井図書館をはじめ、多くの図書館でモノクロコピー機をカラーコピー機に切り替えました。南田中図書館は比較的最近開館したということで、開館当時に導入したカラーコピー機を現在も使用しています。

利用者 開館時間ですが、夏場は朝が早いので、30分くらい早く開館できないでしょうか。7月～8月くらいは朝9時になると結構暑くなってしまいます。

図書館 サマータイムですね。

利用者 はい。出勤の方が大変になるかもしれませんが、2か月くらいでいいので、そのくらいのサービスをしてくれると嬉しいです。

図書館 遅くまで開館してほしいという要望だけではなく、朝を早くしてほしいという要望もあるということですね。

利用者 マナーの問題ですが、ヘッドホンで聴いている人や、あめを舐めてはいけないというのに舐めている人、ガムを食べてはいけないというのにガムを食べている人がいます。要は自覚の問題ですね。

あと、小さなお子さんが奇声を上げているのですが、親は注意しているのだから、していないのか、他の人が注意などしているようです。

でも、来ている客同士が注意すると、また問題になってしまうので、それを、窓口業務の委託職員に言って、ちゃんとフォローできるのかどうかというのが心配です。

私は今48ですが、若いときは、図書館はすごく静かでした。それだけ道徳がちゃんと浸透していたと思うのですが、最近は、図書館でノイズがあふれているので、その辺を何とかしてほしいです。

例えば、「図書館は静かに」という張り紙を掲示したり、30分か1時間に1回くらい「静かにしましょう。」という館内放送を入れたりして、啓蒙をしてもらえる

と、嬉しいです。

図書館 確かに、お子さんやお年寄りや、色々な人が来やすいようにしています。たとえば、暑い夏が続いて、熱中症になる方が増えたときは、暑い人は図書館に来てください、冷房で涼んでくださいと、区報でお知らせしたこともありました。ですので、色々な人が図書館にいらっしゃいます。

ところが、中には図書館は静かにするところだという共通ルールを理解していない方もいます。館の職員が注意しなければいけないし、適切な注意書きなどを掲示しなければいけません。一方で、注意ばかりになってしまうと、逆にそれが不快に感じる方もいるので、難しいところです。

利用者 注意はしづらいと思いますが、職員の人が巡回してもいいです。

図書館 実際は、きちんと声をかければ「すみませんでした。」「気づきませんでした。」と言ってくれる方の方が多いです。それでも、「何を！」という人も中にはいらっしゃいます。

利用者 最近では、それで逆切れするのも多いと思います。

図書館 色々考えながら対応していきたいと思います。

利用者 土日祝日は夜7時までですが、少なくとも、土曜日は8時までにしてもらえればと思います。朝の開館時間は9時ですね。朝9時から来る人はあまりいないと思うので、閉館を8時まで延ばしたら、開館時間を10時とか、1時間遅くすればと思います。

図書館 そういうご意見もあるんですね。

利用者 関町図書館は、2階の奥に視聴覚室があり、テーブルが全部で8個くらいありますが、人によって、荷物を横において1人で1テーブルを占領しています。時々、自分でスクラップブックを作っている人がいます。はさみの音などがうるさいです。

利用者 自分の書斎代わりに使うのはいかがかと。公共の施設なので、何らかの線引きは必要ですね。

図書館 石神井図書館でも不適切な利用には、注意していきたいと思います。

利用者 私は石神井図書館を使わせていただくのは土日なのですが、今日、資料を見て、こんなに委託者や指定管理者が入っているということを初めて知りました。

委託館と直営館、指定管理者館とはどういう違いがあるのでしょうか。というのは、子供も、私の親も、友人も利用していますが、顔が見えなくなっているのでしょうか。

図書館 委託の場合は、区の職員が館長などをし、窓口や配架などの図書館実務を委託職員の者がしています。区の職員は現場で管理監督をしています。

委託という面では、清掃委託や貸出し資料の運搬委託など、他の委託もあります。

利用者 そうすると、本の貸出しなどをしているのは、委託の方ですか。

図書館 委託の者です。

利用者 契約している会社の方ということですか。

図書館 民間会社の職員です。それが、従来からある「業務委託」という方法です。指定管理が委託と根本的に違うのは、その施設の長も会社の職員になり、事業者が、その施設の運営に責任を持つということです。区の職員はいません。

- 利用者 指定管理はいつ頃から始まったのですか。
- 図書館 概ね10年になります。国が主導して、どうしても役人がやらなくてはならないものの以外ではできるだけ民間の能力を活用しようという、「民活」論の中で始まったものです。
- 図書館や文化センターなどの施設を、部分的に委託するのではなく、全体を管理運営させることによって、民間の色々なノウハウを発揮しやすくする。そうして、サービスの向上と経費の節減を図っていくという考え方です。
- 利用者 効率化ですか。
- 図書館 そうですね。まず、効率化することで経費を下げ、かつ内容も良くなります。つまり、公務員が行うよりも、専門の事業者が行った方が、サービスがより良くなるのではないかという考え方です。
- 私は図書館3年目ですが、以前は全く図書館に関係のない、違う分野の仕事をしていました。
- 利用者 お役所ということですか。
- 図書館 公務員は人事異動で職場が変わります。そういう者よりも、その道一筋、10年20年という人を集めた事業者に任せた方が良いのではないかという考え方になるわけです。
- 利用者 つまり、指定管理者館を民間会社に任せると、その会社と社員が長く運営するということですか。
- 図書館 指定管理者は3年や5年で切り替わります。良い成績を上げれば、ずっと続けることもあるかもしれませんが、3年ないし5年で見直しますので、同じ事業者がずっと行うという保障はありません。
- 会社も、指定管理者を受けるときに、初めからたくさん人を抱えているわけではないので、改めて人を募集したりすることもあります。
- ただし、人が変わったとしても、会社としては、図書館というジャンルのノウハウは高まってきますので、効率と中身が両立するということはあるといえます。
- 利用者 それでは、委託館と指定管理者館に分けないで、最初から全部指定管理者館にしてしまえば良いのではないですか。
- 図書館 区立図書館が直営だった頃は、常勤職員と先ほど申し上げた図書館専門員という非常勤職員と一緒に運営していました。そして、7～8年前に窓口業務を委託にしました。区職員と委託職員という形に、変えていったわけです。
- その後、窓口業務等委託だけよりは、一つの施設を丸ごと事業者に運営させ、責任を負わせる指定管理者にした方が良いという考え方になり、順次導入してきました。区職員の役割は指導・監督になります。
- 順次変えてきましたが、全てをいきなり指定管理者化する計画はありません。冒頭に申し上げたとおり、職員が動かす館も残しながら、図書館のノウハウを継承しつつ、指定管理者と委託をうまく組み合わせていく考えです。
- 利用者 ふだん図書館に関わる区職員の人数が減ってきたということですか。図書館で働いていた職員の方は、ほかの部署に回っているということですか。
- 図書館 そうです。区職員は、基本的に職場の異動があります。

利用者 だけれども、図書館専門員は図書館内で異動しているため、以前は、そこがノウハウを蓄積する役割を持っていたのですよ。

図書館 おっしゃるとおりですが、常勤職員の中でも、図書館の勤務が長い人はいます。

利用者 例えば、石神井図書館ですと、直営館ですので、土日や夜はアルバイトということですか。

図書館 いえ、委託事業者です。

利用者 平日は、区職員の方がいるということですか。

図書館 そうです。その中で区職員が委託事業者の指導・監督もするということです。

利用者 もう一つ疑問に思があります。委託化によってサービスは良くなっていますか。私自身はよく分からないのですが、自分の子供や母親も、変わっているところを何も知らないので、多分何もないのでしょうけれども。

利用者 関町図書館の場合は、6年以上委託をしています、何十人いる委託職員の中で、人がほとんど入れ代わってしまい、残っているのは4～5人です。

ですから、ノウハウが蓄積されることはありません。また、最近になって練馬区立図書館利用者アンケートなどでも、そういう不満が結構目立ってきていると思います。

利用者 それは、民間に委託されても人が変わっているということですか。

利用者 変わってしまっているのです。だけれども、図書館専門員の場合は図書館の中で異動し、委託で働いている方より少しは給与が良いので、ある程度定着率は良いです。

指定管理者館なども、若い館長では先ほどそちらがおっしゃったようなノウハウなどは全然期待できません。

懇談会でも、その館は「情報拠点として図書館に求めるもの」という大きい題名を掲げていました。質問をしても、内部のシステムなどに精通している人間はいないため、全然答えられません。

その館が行っているiPad（講座）などは、自館で実施したので答えることができますが、システム全体を考えないといけな情報拠点について質問をすると、全然答えることができません。

だから、そういうノウハウの点でいっても、今まで区が言ってきた、ノウハウのレベルが上がるということは、嘘だということが証明されたということです。

図書館 そういうご意見もあるということですね。

利用者 そうです。一方、練馬区立図書館利用者アンケートの結果では良かったという意見は出ています。

図書館 確かに、窓口の接遇については、良くなったという声を聞いています。

利用者 だけれども、練馬区立図書館利用者アンケートの結果にも結構ありますが、窓口で尋ねると、「分かりません」や「聞いてみます」、「あちらに聞いてください」などといったことが多いです。

図書館 そういったことも含めて、中央館的な光が丘や、石神井のような直営館で、図書館のことを少しでも知っている人間が、それをチェックするなどという形で補完し合っていく考えでいます。

利用者 しっかりしていただかないと困るのです。

 先ほど、この資料でおっしゃっていた小竹図書館は今、直営館ですが、募集して来年度はもう指定管理者館になるのですよね。

図書館 小竹図書館は来年度指定管理者館になります。代わりに、練馬図書館は図書館専門員が運営する館になります。

利用者 夜だけ委託するということですね、ここと同じで。

図書館 そうですが、あちらは土日祝日も昼間は専門員が窓口を担当します。そうして、石神井図書館もそうですが、ノウハウの継承の拠点にするという考え方です。

利用者 先ほど、プール事故で民間委託の管理が行き届かないなどとおっしゃいましたよね。その辺りの話で、直営館の石神井や光が丘を指定管理者館にするといった、その後の工程表のようなものはあるのですか。

図書館 それ以降については、決まっています。

利用者 全館に指定管理者をいき渡らせるというところまではいかないということですね。

図書館 っていないです。そういうような計画はないです。

利用者 先ほどおっしゃった、そういう管理の関係で不都合が起きるから、ここで指定管理者館導入をとめておくなどといった話はあるのですか。

図書館 小竹図書館を指定管理化した後のスケジュールは決まっています。色々と考え方はあると思いますが、それを含めて今、検証しているところです。

利用者 けれども、小竹図書館から練馬図書館へ行くと、図書館専門員が余りますよね。人員配置は、どうするのです。

図書館 小竹図書館は小規模館なのに対し、練馬図書館は比較的大きいので余りません。小竹図書館に今いる専門員を全員投入しても、練馬図書館の運営には足りません。

利用者 利用者として、疑問に思うことがあります。土日と夜間が委託で、それ以外は職員の方がいらっしゃるというお話を聞いたときに、例えば、私が調べ物をお願いなどしたときに、委託の方、もしくは職員の方に平日に頼んで、土日に寄ったから答えを聞いてみたいと思ったときに、委託の方まで情報共有していますか。どこまで共有しているか心配です。

図書館 基本的に、平日は4時頃に引き継ぎをし、そこで、大きなことについての申し送りやトラブル対応を確認しています。

 個々の、例えばレファレンスの引き継ぎについては、大体、カードを作ります。それは、私たち職員同士でも同じで、シフト制のため、受けた人間が最後までその一つのことを行うことが、なかなか現実にはないからです。

 そうすると、何かあったらカードや電算システムの中の情報を確認し、こういうことがあったのだなと分かります。シンプルなものについては、基本的にはそういうカードやシステム上の記録で引き継げるようになっています。

 特殊なものについては、職員同士でも、例えば朝のミーティングでこういう特殊な案件があるので皆さん気をつけてくださいなどと共有したり、職員と委託事業者の間でも、引き継ぎをしたりしています。

利用者 珍しいなと思います。

 私は、結構色々な図書館を利用していますが、大体、職員の方と委託の方で土日

も一緒に連動している、というパターンが多いです。曜日や時間によって人ががらりと変わるのは、私のような利用者の立場からすると、カウンターに声をかけづらいです。顔見知りの人が平日も土日もいると、今日はゆっくりできるから聞いてみようと思いますが、委託者などいつもと違う人がいると、知らない人なので聞くのをためらってしまいます。

また、レファレンス（調べものをしたり、資料を探したりすることを図書館がお手伝いするサービス）について、練馬区立図書館アンケートの「満足している」というパーセンテージはよく分かりましたが、これは個人的な興味ですが、石神井図書館のレファレンス件数は、どのくらいでしょうか。

図書館 レファレンスの内容などについて、こういうお問い合わせがありましたというような記録はとっています。例えば、何々について調べたいというご質問がありました。それに対して、こういう答えをしました、というようにそこで受けたものについては、記録表を館でとっています。

利用者 件数という数字、いわゆる量だけではなく、そのことについて知りたいという、その内容、いわゆる質も重視しているのですね。

図書館 もちろん、例えば、同じような質問が来たときに、また最初から調べるというのは時間の無駄でもありますし、同じような質問がまたあったときに、答えが違ってはいけませんよね。

そこで、こういう質問がありました、こういう答え、例えばこういう資料をご提供しましたというようなことで、レファレンスの記録表みたいなものがあるのですが、そういうものを、職員間なり、委託のスタッフなりという形で見て、何かあったときには、そこを確認すれば、また同じ答えが出せるようにというような形で引き継ぎます。それも、引き継ぎの中の一つの手法として用意しています。

利用者 この教育要覧は開架に置いていますね。後方ページの「区立図書館施設一覧」の職員数欄に、各館の司書内訳が載っています。

しかし、指定管理者館の内訳が全然出ていません。指定管理者館の職員の異動状況や、雇用数といった細かいデータを、要覧に出さなくても例えばホームページで良いので、出してください。指定管理者館が練馬区立図書館の半分を占めているのに、区民が評価するための基礎的な情報がありません。

図書館 分かりました。

利用者 光が丘図書館の管理係にも伝えましたが、この要覧には図書費をいくら使ったなどといった決算は出ていませんよね。

図書館 大まかな数字は、ほかのページにあります。細かい数字は他の資料にあります。

利用者 予算も決算も区のデータには出ていますが、要覧にも入れるべきではないかと思っています。

図書館 要覧は、どちらかというと、そういう目的ではありませんが。

利用者 けれど、利用者数など細かいデータを出していますよね。そこに指定管理者の経費や委託費等、前年度の細かい経費を載せても全然おかしくありません。

情報公開をすれば入手できますが、利用者の立場では、どういうデータや資料編があるのか分かりません。

図書館 確かにそうかもしれません。

利用者 そういったデータをまとめたものがあれば出してほしいと言っていますが、管理係長はなかなか出してくれません。

先日の懇談会でそれを言いましたら、紙1枚の裏に全体費を載せるくらいの対応しかしてくれません。ですので、細かいデータを載せるならば、経費のデータを要覧に載せることを検討してください。

図書館 要望として伺います。まず、最初の司書の内数ですが、これは確かに、指定管理館以外は載っていて、指定管理館が載っていないので私も載せた方がいいと思います。意見具申します。

ただ、細かい予算の内訳については、分量的に難しいかもしれません。

利用者 配布資料は、教育要覧そのものをコピーしたのですね。独自でつくったわけではないですね。

図書館 違います。こちらは、公表しているものです。教育要覧は全体の分量が結構厚いです。予算関係は大雑把な数字が別の場所に載っていますが、全体の分量の関係で調整しているのかもしれません。

利用者 半分以上が指定管理者館になると、例えば、指定管理者館の全体的な経費について等、データ表みたいなものが職員も必要になると思います。データがないと、全体の決算を見て一々調べることになります。

ですので、そういうようなデータをきちんと出さないといけないですし、データが無いのはおかしいです。

図書館 そういうご提案をいただいたということで、ちゃんと伝えます。

利用者 その場合、貸出数などのデータが載っている以上、経費のようなものを決算などではなく、載せても良いと思います。

図書館 きちんと、そういう要望を記録します。

利用者 また、年度別に見て図書費などもだんだん削られていることが分かれば、経費が厳しいことが利用者にも分かります。

図書館 分かりました。うまくPRしたほうが良いということですね。

利用者 そういうこともできますよね。練馬区立図書館利用者アンケートなども、色んなことを誤解している意見が多いわけではないですか。

そういうデータをきちんと出した方が、図書館のことがよく分からずに、誤解して意見を言う利用者が少なくなると思います。

図書館 本日は、大変貴重なご意見をありがとうございました。これを活かして、図書館をさらに改善していきたいと思います。どうもありがとうございました。